

## 早稲田大学社会科学部【総合問題】解答例

### I

- 問1 b
- 問2 比較的均質な地域を侵略により分類でき、都市化率も分かるから。(30字)
- 問3 c
- 問4 a
- 問5 d
- 問6 b [ただし「ギルドが廃止」された時期をフランス軍侵略よりも「早い時期」と解釈すれば、cも正解になりうる。各選択肢文の意味は、時制の解釈の仕方によって変わる。]
- 問7 c 【25.3.4 追記。大学公表の解答例ではeが正解。】
- 問8 a

### II

- 問1 c
- 問2 b
- 問3 d
- 問4 a
- 問5 e
- 問6 e 【25.3.4 追記。大学公表の解答例ではaが正解。なおaを正解とする解釈では、最も完成された理想的な「正義」においては、場合によって「親権という広く尊重されている自由を侵害する」ことや「家族生活に踏み込」むことが、強く許容・推奨されることになる。しかしこれは過度に強権的・干渉主義的であり、果たして「正義」であるのか疑問が残る。何より、本文からそこまで読み取ることができない。】
- 問7 格差縮小を目指す追加的政策の実施により、そこまでの時点で平均以下の健康状態にあった人々や、最も恵まれない健康状態にあった人々の健康が、かえってどうやっても悪化する場合、社会経済格差や健康格差が残るままになったとしても、その状態はロールズの要請する「格差原理」内の最善であるため、許容されると考えられる。例えば、健康に微妙に影響を及ぼすと思われる工場群が、既に完全に最適に立地している場合が考えられる。(200字) 【25.3.4 追記。7文字だけ修正。なお大学も解答例を公表したが、その内容は、例えば途上国の医療水準を低く放置したまま先進国の医療水準だけをどこまでも上げ続け、その状況を「この格差は一時的なことであり、いつか途上国にも恩恵が行くから」という(トリクルダウン式の)理由で先進国側が肯定し続けられることを意味していた。】